

平成30年度学校評価 「自己評価票」

学校名 北海道千歳北陽高等学校

1 本年度の重点目標

- 1 教科学習と特別活動の両立を図り、調和のとれた人間性の育成に努める。 [育てるべき生徒像]
- 2 わかる授業の充実を図り、自ら学び方を学ぶ能力や態度の育成に努める。 [学習]
- 3 基本的な生活習慣の確立を図り、倫理観や規範意識の育成に努める。 [生活]
- 4 個に応じた進路指導の充実を図り、社会の変化に柔軟に対応できる能力の育成に努める。 [進路]

2 本年度の経営方針

- 1 本校の使命と育てるべき生徒像を共有し、フィールド制教育課程の効果的運用を図りながら「これからの高校づくりに関する方針」にもとづき特色ある高校づくりに向け、進むべき道を明確にした学校運営に努める。
- 2 意欲を引き出す魅力ある教育活動を展開し、明日の市民として社会を支える生徒の学びと育ちを保証し、地域に信頼され、開かれた学校づくりに努める。
- 3 生徒理解と信頼関係に基づく組織的な指導と支援を推進し、自己肯定感や自己有用感を高め、学びに向かう安心・安全な教育環境の整備に努める。
- 4 計画的・組織的な研修とOJTによる実践的研修により、切磋琢磨しながら知識・技能を共有し、教育職員としての資質能力の向上に努める。

3 自己評価 A=十分である(2.5以上)、B=概ね十分である(1.8～2.4)、C=不十分である(1.1～1.7)、D=改善を要する(1.0以下)

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策
学校経営 教育目標	今年度の学校経営方針・シラバスに則って教育を展開していますか。	B	B	・学校経営方針のもと、教職員全員の共通理解と協働の推進。 ・業務バランスの平準化と、職員の一体感の醸成。
	全職員が一体となって学校運営・教育を推進していますか。	C	B	
資質向上 服務規律	効果的な研修計画を立案し、研修の成果の共有・実践ができていますか。	B	B	・研修後の実践・反省・改善の充実。 ・定時退勤日の定時退勤の励行と定時退勤週間の設置。
	法令遵守・服務規律の保持に係り、適正な勤務管理に努めていますか。	A	A	
教育課程 学習指導	フィールド制教育課程の管理に係り、検証・改善に努めていますか。	C	C	・現行フィールド制の教育課程の検証・改善の実施、総合学科への移行準備の促進。
	生徒の学習意欲の向上及び学習習慣の確立を図っていますか。	B	B	・少人数、習熟度別授業の推進。
特別活動	学校行事やHR活動・部活動等の充実に向けた指導が十分ですか。	B	B	・部活動加入率の向上。 ・分掌再編による特活部の復活。
生徒指導 いじめ	その場に応じた適切な生徒対応・生徒指導に努めていますか。	B	B	・生徒情報の共有化と、迅速に対応できる体制の構築。 ・学年集会の活用。
	いじめの根絶に向けて、厳しくも温かい指導を図っていますか。	B	B	・昼休みの巡回中の生徒観察の強化。
教育相談 保健安全	生徒の悩みに親身に相談にのるなど、生徒の状況把握に努めていますか。	B	B	・スクールカウンセラーを活用したカウンセリング活動の充実。 ・年2回の面談週間の実施。
	欠席・遅刻・早退など、生徒の健康管理に対する指導が十分ですか。	B	B	・家庭との連携強化。
キャリア教育 進路指導	3年間を見通して、生徒のキャリア発達の促進を図っていますか。	B	B	・3年間を見通したキャリア教育(進路指導計画)の見直しと共通理解の推進。
	進路実現に向けて、適切な助言や具体的な指導を行っていますか。	B	B	・「進路ノート」(キャリアナビ)の改訂。 ・ポートフォリオの作成と活用。
特別支援教育	主体的に研修に取り組み、特別支援教育の円滑な推進に努めていますか。	B	B	・各種検査等の有効活用。 ・関係諸機関との連携強化。
施設設備	校舎内外の環境整備に努め、施設設備の安全・安心の確保を図っていますか。	B	B	・生徒自身が学習環境を考える機会の意図的な設定。
連携 情報発信	保護者や地域住民との積極的な連携・交流に努めていますか。	B	B	・地域ボランティア活動の充実。 ・学校メールの活用。
	日ごろの教育実践を保護者や地域住民にわかりやすく伝えていますか。	B	B	・学校通信の継続発行と内容の充実。